

# 国民学校成立過程の一考察

## —義務教育教育内容をめぐって IV—

鈴木 三 平

A Study on the Process of Establishing National Schools  
— In Regards to the Educational Content of Compulsory Education IV —

SUZUKI Sampei

2021年11月5日受理

### 抄 録

幹事試案が第18回特別委員会で改めて説明される。「従来横ノ連関ニ於テ知識ト云フモノガ大変尠達ヲシテ居ツタノデアリマス……足ラザル所ハ、縦ニ一元的ニ総合シ統一シテ人ヲ養フト云フ方面ガ足ラナカツタノデハナイカ」と言う。第20回特別委員会で橋田邦彦委員は「日本人ト云フコトノ根源的意義」「総合的ナ立場ノ人物養成」という観点から幹事試案に賛意を表している。また松井茂委員の指摘した「合科ノ内容問題」（児童中心の自由主義教育思想）については、「皇民精神」をもってそれに置き換えたうえでの合科教授援用が考えられていた。

このあと審議の場は再度整理委員会に移され、「刻々ニ国家ノ情勢ガ変動シ、ソレニ応ジテ適切ナ生活ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ時代ニ於キマシテ……国民学校案ヲ御審議ナサイマス」ことを文部省は要請している。

キーワード：皇民科・自然科・訓練科、体育科、職業科

#### (4) 特別委員会における教科編成原理の論議

7月6日午前開催の第6回整理委員会で青年学校教育義務制案を決定し、同日午後から第18回特別委員会で整理委員長からその審議経過並びに結果報告があり決定をみたあと、幹事試案が提案された。伊東延吉幹事長から「国民学校、国民実修学校要項」の説明に引き続き、それぞれの学校教科案について長広舌が展開された。「皇民科、自然科、訓練科ソレカラ高学年ニナリマスト体育科ト云フ風ニナツテ居リマスガ、是ハ所謂合科教授ト云フモノガ近頃考ヘラレテ居リマス……併シ其ノ合科教授デハナイノデアリマス、合科教授ト云フモノトハ大分違フノデアリマス、合科教授ト云フノハ

二ツ若シクハ三ツ或ハソレ以上ノ科目ヲ集メマシテ、本人ニ出来ルダケ具体的<sup>ママ</sup>智能ヲ所<sup>マ</sup>発シテヤラウト云フヤウナ、余リ細カク分レルコトカラ来ル弊害ヲ除去シテ、モツト全的ニ「ゲザンムト・ウンターリヒト」(Gesamtunterricht)ト云フヤウナ訳デ、モノヲ教ヘテヤルト云フ立場ニ立ツモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス……此ノ所謂皇民科、自然科、訓練科ト分チマシタ趣旨ハ、実ハ人ヲ作ル、而モ皇国青年ヲ作ルト云フコトヲ最モ重大ナ主眼ニ致シテ是ハ組織致シタノデアリマス、本当ノ日本国民ヲ作ル、而モ具体的ニソレヲ鍊成シテ行クト云フ立場カラ申シマスト、ドウシテモ今迄ノヤウナ横ニ沢山並ンデ居ルノデハ決シテ巧ク行キマセヌノデ、先ツ皇民科、自然科、訓練科ト云フ風ニ統合シテ来ルコトガ必要デアルト云フ風ニ考ヘタ訳デアリマス」。

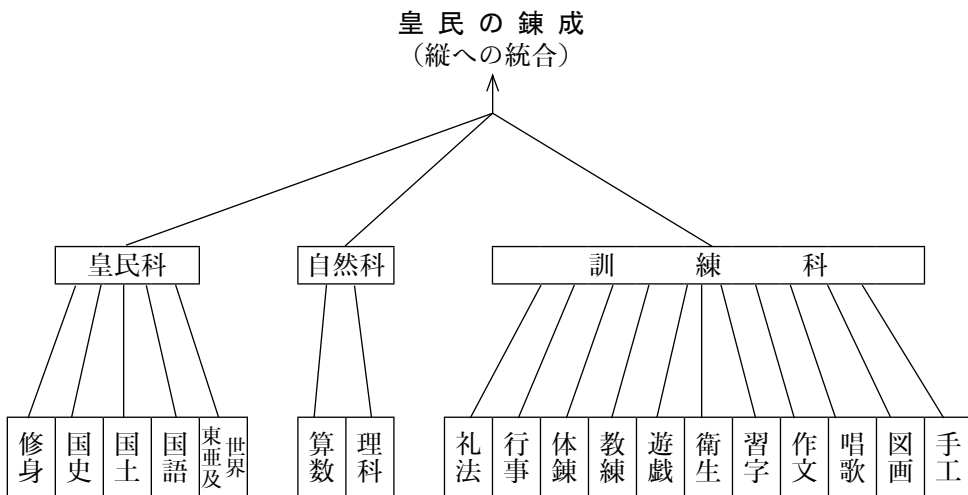


図1 教科編成(幹事試案)の概念図(国民学校低学年(一~四学年)の場合)

(図1 参照)「ソコデ皇民科ノ中ニ於キマシテハ、修身教材、国史教材、国土教材、国語教材、東亜及世界教材ト云フモノヲ入レマシテ、サウシテ是等ニ付テハ大体ニ於テ全部皇民ト云フ精神ヲ中心ニシテ考ヘテ行ク、例ヘバ修身ト云フコトハ個人的ノ修養デアリマシテモ、皇民意識ニ於テ個人的ニ修養スルト云フコトニナル訳デアリマス、国史ニ於テハ単ニ史実ヲ明ラカニスルト云フコトデナク、ソレガ日本ノ国体ノ現レデアツテ、ドウ云フ風ニ歴史上ニソレガ現レテ居ルカト云フ全体ヲ貫ヌク精神ト云フコトヲ重ンジマシテ国史ヲ教ヘテ行ク、国土ニ付キマシテモ単ニ地理ト云フ唯「フィジカル」ナモノデナシニ、本当ニ日本国土トシテ土地ト云フモノヲ考ヘテ行ク、或ハ草木ニ付テモ山川ニ付テモ左様ニ考ヘテ行クト云フノデ、国語モ亦同様デアリマス、東亜及世界教材ニ至リマシテハ余計ニ左様デアリマシテ、我が国ノ立場カラ見テ東亜ト云フモノヲ見、世界ト云フモノヲ眺メテ、ソコデ皇民科ト云フ教材(科)ヲ成立タセテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス」、「自然科ニ付キマシテモ、算数理

科ト云フモノヲ一ツニシマシテ、算数ト云フモノヲ相当十分ニ重ンジ、ソレニ対シテ自然科学的ノ教科(材)ト云フモノヲ重ンジテサウシテヤツテ行クト云フ考デアリマス、<sup>ママ</sup>「訓練科ノ方ハ、礼法、行事、体鍊、教練、遊戯、衛生、習字、作文、唱歌、図画、手工ト云フ風ニ低学年ニ於テハナツテ居リマスガ、是等ニ付キマシテハ此ノ全体の連関ト云フコトヲ一方ニ於テハ十分ニ考ヘテ、体操トアリマスノヲ体鍊ト致シマシタノハ、体操ト云フノハ余リニ何ダカ手足ヲ唯動かカダケト云フヤウナ意味デ鍛練の意識モ十分デナイシ、又唯手足ヲ動かスト云フヤウナ機械的ノコトニナリ易イト云フコトヲ避ケル為ニ体鍊ト致シタノデアリマス、教練ト体操モ固ヨリ同様デ、教練ト云ヘバ唯軍事ダケノコトヲ考ヘルノモドウカト思ヒマス、モツト身体ヲ本當ニ練ルト云フ意味ニ於キマシテ全体ヲ総合シテ行キタイ、遊戯ト云フモノニ於テモ、唯遊ブト云フコトダケデナシニ、外ノ体鍊、教練等ニ於ケル精神ハ、ヤハリ遊戯ニモ在ツテ、ソレガ一方ニ於テハ遊戯ト云フ形ヲ以テ現レルト云フ風ニ致シテ行クベキデアルト考ヘルノデアリマスガ、同時ニ礼法ト云フモノニ付テモ深イ考ヲ以テ行クベキデハナイカ、例ヘバ礼法ト申シマスノハ、総テノモノニ通ズルモノデアリマス、体鍊ニモ、教練ニモ、遊戯ニモ皆通ズル訳デアリマシテ、是ガ日本ニ於テハ日本ノ国民ノ動作挙動ノ規矩ニナルモノデアリマス、ソレデ体操ナドデモ実ハ礼法ガ体操、体鍊ト云フ形ニ於テ表現セラレタモノデハナイカト思フ位デアリマシテ、教練デモ同様デアリマス、遊戯等デモ同様デアルト思ヒマス、日本ノ武道ハヤハリ礼法ガ即チ闘ヒト云フ形ニ於テ現レタモノト見テ、ソレガ本當ノ武ニナルト云フヤウナ所モソコカラ来ルノデハナイカ、全体のニ体操ト衛生ト云フヤウナモノハ無論相俟<sup>ま</sup>タナケレバナラヌノデ、衛生ト体操ト離シテ居リマシテハ是ハイケマセヌ、衛生ト云フコトモ單ナル消極的ノモノデナクテ、積極的ノ一面ガアツテ而<sup>しこ</sup>シテ衛生ト云フコトガ本當ニ効果ヲ挙ゲルト云フコトニ相成ラウト思フノデアリマスガ、礼法ト云フコトハ相当ニ是ハ重ンジテ、而モ全体ヲ通ジテ一ツノ立派ナ人間動作ノ法則ト云フコトニシテ、身体ヲ練リ、教練ヲシ、遊戯ヲスルト云フ形ニ於テヤツテ行ツタラ良カラウヂヤナイカ、ソレガ所謂訓練科トシテ全体ニ更ニ統一サレテ来テ、而モ訓練科ニ於テ統一サレタモノハ自然科、皇民科ト合体シテ茲<sup>こゝ</sup>ニ一ツノ日本国民ヲ作ルヤウナ風ノ教育デアルト云フヤウニ意識ヲシテ、十分ニ其ノ方法精神ニ於テ考ヘテ一人ノ生徒ヲ養ツテ行クト云フ風ニ致シタイト云フノガ精神デアリマス、更ニ習字トカ、唱歌トカ、図画トカ、手工等ニ付キマシテモ、図画デ言ヘバ單ニ客觀的ニ存在シテ居ルモノノ形態ヲ写スト云フコトダケデナク、ソレハヤハリ日本ノ画道ニアリマスヤウニ、相当ニ深イ精神的要素ヲ持チ、礼法ト云フヤウナモノトモ連絡ヲ以テ行ハレル所ノ本當ノ図画デアル、又手工モ同様デアリマス、サウ云フヤウナ意味ニ於テ手工トカ図画ト云フモノヲ全体カラ離スコトナシニ考ヘテ、サウシテ手工ノ中ニ精神的教育ヲ見出シ、図画ノ中ニ作法的ノ教育ヲ見出シテ行ク、習字ニ於テモ勿論<sup>もちろん</sup>同様デアリマシテ、固ヨリサウ云フコトハ余計言ハレルダラウト思フノデアリマス、書道ト云フコトガ如何ニ精神的ニ重要ナ要素ヲ持ツモノデアルカト云フコトヲ考ヘレバ分ルト思フノデアリマスガ、サウ云フヤウナ意味合ニ於テ考ヘテ行ク、<sup>い</sup>「ソレデ此ノ訓練科ハ要スルニサウ云フ風ニ身体ヲ動カシ、手足ニ依ツテ

物ヲ造リ、創造シテ行ク方面ノ事物ニ付テ書キ、自然科ハ自然科学ニ付テ書キ、皇民科ニ付キマシテハ人ノ倫理、歴史等ヲ中心ニシタ所ノ本当ノ人ノ総合的ナ国民意識ト云フモノヲ十分ニ考ヘテ行クト云フ風ニシタモノデアリマス。」「先程申シマシタヤウニ此ノ三ツガ集リマシテ、サウシタ人ヲ作ルト云フ風ニ働クヤウニ考ヘル、ソレデ実ハ是ハ一口ニ申シマスト、従来横ノ連関ニ於テ知識ト云フモノガ大變発達ヲシテ居ツタノデアリマス、ソレハ又極メテ大切ナコトデ結構ナコトデアラウト思フノデアリマスガ、足ラザル所ハ、縦ニ一元的ニ総合シ統一シテ人ヲ養フト云フ方面ガ足ラナカツタノデハナイカ、ソレガ従来ノ儘ノ形ニ於テ学科ト云フモノヲ扱ヒマシテモ中々十分ニ行キマセヌカラ、之ヲ更ニ総合致シマシテ、知識的要求ト云フコトニ付テモ相当ニ満足ヲ与ヘ、更ニ縦ニ人ヲ養フト云フ方法ニ於テモ十分ナ効果ヲ挙ゲルヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ此ノ案ヲ立テテ次第デアリマス、是ハ大体低学年ニ付テ申シ上ゲタノデアリマスガ、高学年ニ付テモ、実修学校ニ付テモ精神ハ無論同様デアリマス、併シ大分内部ノ色々ナ科目トカ教材ハ違ヒマスカラ、色々御質問ナドハ出ルカト思ヒマスケレドモ、兎ニ角精神ハ同様デアリマスカラ、又其ノ細カイ点ニ付テ御質問ガアリマスナラバ、其ノ時ニ申シ上ゲルト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、大体精神ニ於テハ御説明ヲ申シ上ゲタ通りデアルト思ヒマス、ソレデ従来ノヤウナ形ニ於テ授ケラレテ居リマス所ノ知識ト云フモノハ、ドウシテモ専門的ニソレゾレ分離シタ知識、国語ハ国語、歴史ハ歴史、地理ハ地理ト云フ風ニ分離シタ知識ニナルノデ、ソレダケデハイケマセヌカラサウ云フコトモ決シテ輕視スル訳デハナイノデアリマスガ、更ニ統合シタ知識ト云フコト、サウ云フコトニ非常ニ重点ヲ置イテ来ルベキデアルト云フコトヲ考ヘタ訳デアリマス、ソレデ縦ニ斯ウ云フ風ニ組織スルコトニ依リマシテ、今迄得ラレナカツタ所ノ縦ノ総合的知識、詰リ活キタ活躍スル知識ガ得ラレテ来ルト云フコトニ非常ニ重キヲ置イテ考ヘル、即チ之ヲ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ具体的知識ヲ得ルト云フコトデアリマス、ソレガ斯様ナ組織ニ依ツテ得ラレル所ノ大キナ利益デアリマセウシ、而シテ其ノ組織ガ従来ノ横ノ組織ト相合シテソコニ人ヲ作ル所ノ教育ガ出来ルト云フコトヲ考ヘタノデアリマス。」<皇民科、自然科、訓練科ト分チマシタ趣旨ハ、実ハ人ヲ作ル、而モ皇国青年ヲ作ルト云フコトヲ最モ重大ナ主眼ニ致シテ是ハ組織致シタノデアリマス……従来横ノ連関ニ於テ知識ト云フモノガ大變発達ヲシテ居ツタノデアリマス……足ラザル所ハ、縦ニ一元的ニ総合シ統一シテ人ヲ養フト云フ方面ガ足ラナカツタノデハナイカ……統合シタ知識ト云フコト、サウ云フコトニ非常ニ重点ヲ置イテ来ルベキデアルト>言うのである。「ソレカラ教科書等ニ於キマシテモ……皇民科、自然科、訓練科等ヲ通ジマシテ、即チ皇民科ニ於テ皇民科ノ教科書ヲ作り、自然科ニ於テ自然科ノ教科書ヲ作り、訓練科ニ於テ訓練科ノ教科書ヲ作ルト云フヤウナコトヲ大筋ニシマシテ、更ニ其ノ教科書ヲドウ云フ風ニ組織シテ来ルカ、或ハ多少ノ類別ヲソレニ施スカト云フヤウナコトハ是ハ十分考究シテ參ル必要ガアリマセウシ……従来ノヤウナ修身教科書、或ハ国史教科書、地理教科書ト云フ風ナ唯別々ノ横ノ排列ダケノ教科書ヲ作ルト云フコトハシナイ考デアリマス(1)」と、従来とは全く異なった教科書構想を提示している。以上これらの説明を受けたあと、次回以降審議

することとなった。

第19回特別委員会は7月8日午後から開催された。まず西村房太郎委員が発言する。「国民学校ノ修業年限ヲ六ケ年トシ、国民実修学校ノ修業年限ヲ二ケ年トスル此ノ案デアリマスガ、此ノ修業年限ノ二ケ年ト云フノハ今日ニ於テハ洵ニ已ムヲ得ナイコト、モ存ジマスガ、決シテ是ハ理想デハナクシテ、願ハクバ近イ将来ノ内ニ三年ニシテ……中等程度トシテヤツテ行カナケレバナラヌモノ、ヤウニ考ヘマス、ドウセ日本ノ發展上、モウ遠カラヌ内ニ三年ニスルト云フコトハ必要ニナツテ来ルニ相違ナイト考ヘマスシ、又人間ノ心身ノ發達カラ見マシテモ三年間ハ是非ヤルコトガ適當ト考ヘラレマス」(国民実修学校の修業年限を3年にして、「中等程度」の学校(西村委員は4月27日開催の第3回特別委員会で、延長する2か年の義務教育について中等程度の教育を取り扱う青年教育の出発点とし「普通教育」に重点を置くことを強調している。)とする必要があると言う。、「教科案デアリマスガ……コレマデ教育ハ如何ニモ分類的ニ、或ハ分析的ニ流レ過ギテ居リマシテ、本當ノ総合シタ精神ヲ擱ムト云フコトハ出来ナイ……之ヲ改メテ、サウシテ全ク從來ノ行キ方ヲ一新シテ総合的ニモノヲ考ヘテ行クト云フ此ノ御趣旨ニ対シマシテハ非常ニ結構ダト思ヒマシテ、喜ンデ賛成ヲ致シマス……唯皇民科ト云フヤウナ文字トカ又此ノ排列ノ具合ハ更ニ御研究ヲ願ヒタイト考ヘマス……此ノ皇民科ト云フノハ皇民即チ臣民デアリ国民デアルノデアリマス……他ノ自然科、訓練科ガ此ノ外ニアルヤウデアリマス、私ハ全体ガ皇民科デハナイカト云フ風ナ考ヲ持ツテ居リマス……寧ロ全部ヲ皇民科一ツニ纏メテ、其ノ中ニ斯ウ云フ色々ノ種類ガアルト云フ風ニシタラドウカ、之ヲ能ク拜見致シマスト第一ノ部門ハ人文科デアル……第二ハ自然科ニ類スルモノ、第三ハ行ノ教育ト云フヤウニ大体分類シテアルヤウデアリマスカラ……皇民科デ纏メテ、其ノ中ニ人文科トカ自然科トカ行ヒノ科ト云フモノヲ盛ツタラドウデアラウカト思ヒマス」。教科案については全ク從來ノ行キ方ヲ一新シテ総合的ニモノヲ考ヘテ行ク趣旨は非常に結構であるが、全体を「皇民科」で纏めて、その中に「人文科」とか「自然科」とか「行ヒノ科」にすることを提案する。「唯茲ニ一ツ疑問ガアリマスノハ、皇民科ノ中デ国史教材、国語教材一國史ヲ国史トシテ専門的ニ教ヘナイデ、国語ヲ国語トシテ専門的ニ教ヘナイデ皆総合シタ立場ニ於テ教育シナケレバナラヌト云フ意味ハ能ク解ツテ居リマスガ……国史ト国語ハ国民ノ精神ヲ養フ独立ヲシテ行クト云フ根本ノモノデアリマス……国史教材、国語教材トシテ取扱フノハ余リニ国史、国語ヲ軽々シク扱フモノデハナイカト云フ感ジモ起ル次第デアリマス……要スルニ……今マデノ弊害ヲ矯メテ大變進歩シタ良イ教育ニモナルト思ヒマスガ、余程注意シテヤリマセヌト、却ツテ総合シタ為ニ損失ヲ増スト云フヤウナコトニナル(2)」と言う。「国史」と「国語」を専門的に教えないで、今までの宿弊を矯正するために総合シタ立場での取り組みは余程注意シテヤリマセヌト、却ツテ総合シタ為ニ損失ヲ増スト云フヤウナコトニナルと言うのである。

長與又郎委員(東京帝大総長、前教学刷新評議会委員(特別委員))は言う。「名称ヲ国民学校トシ、国民実修学校トシタコトハ前ノ高等小学校ト云フヨリモ結構ダト思

ヒマス……国民学校ノ方ハ中学ニ連関シ、国民実修学校ハ此處<sup>こゝ</sup>デー先ヅ完成ヲスルト云フコトニナルカラ結構ダト思ヒマス、唯此處デーツ伺ツテ置キタイコトハ、将来国民実修学校ヲ卒業シタ者ガ、更ニ他ノ上ノ学校ニ行クトカ、或ハ青年学校ト国民実修学校トノ關係ガドウナルカト云フコトヲ一<sup>ちよつと</sup>伺ツテ置キタイ／ソレカラ東亜及世界教材トハ何ヲ意味シテ居ルノデアリマスカ、年<sup>とし</sup>ノ幼イ者ニ東亜及世界教材ト云フノハ、是ハ主ニ日本ノコトヲ教ヘルノデアリマスカラ、日本ノ国史、日本ノ国土、ソレニ相当スルヤウナ方面ノコトヲ意味シテ居ルノデアリマスカラ、サウスルト歴史、地理ト云フヤウナコトモ此處デ授ケルノデアルカドウカ、東亜及世界教材ト云フノハハツキリシナイト思ヒマス／ソレカラ自然科ノ方デ算数ト云フ言葉ヲ特ニ挙ゲラレタコトハ大變結構ダト思ヒマス、日本人ノ一ツノ欠点トシテ数ニ対スル觀念ガ非常ニ漠然トシテ居ル、自然科学デナクテモ、政治家デモ經濟学者デモ總テ数ノ觀念ガ日本人ハ比較的ハツキリシテ居ラヌト云フコトガ大キナ欠点ダト思ヒマス、英吉利ハ子供ノ時カラ数ノ觀念ヲ深く植付ケルヤウナ教育ヲヤツテ居ルコトガ色々ナ形ニ於テ英吉利ノ教育ノ可ナリナ特徴ダト思ヒマスガ、特ニ算数ト云フコトヲ低学年ニ於キマシテモ、高学年ニ於キマシテモ入レタコトハ大變結構ダト思ヒマス／ソレカラ理科ノ教材デアリマスガ、理科トナツテ居リマスト……非常ニ広イモノデアリマシテ、此ノ自然科ノ所ハ理科ト云フ非常ニ広イモノガアツテ、次ニ行キマス、体鍊、教練、遊戯ト云フ風ニ區別シテアル、是（理科）ハ非常ニ漠然トシテ居リマシテ、斯ウ云フ風ニ教科（自然科）トシテハ兩方（自然科、訓練科の）釣合ガ取レナイト思ヒマス、斯ウ云フ点ハ整理委員ノ方ニ特ニ御願ヲシテ置キタイト思ヒマス／ソレカラ理科教材ト申シマス、大体ニ於テ数学物理系統ノモノト、博物学系統ノモノトアルガ、低学年ノ方ハドツチニ重キヲ置クカ、高学年デハドツチニ重キヲ置クカト云フヤウナコトモ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、兎ニ角唯理科教材ト云フダケデハ大變ニ不足ダト思ヒマス／ソレカラ体鍊、教練、遊戯デスガ、此ノ遊戯ヲヤラセル為ニ教練ト云フ字ハ、吾々ハ中学以上大学ニ至ル迄ヤツテ居ル軍事教練ト云フコトニ直グ頭ガ来ルノデアリマスガ、教練ト云フ字ヲ此處ニ置クト今マデノ尋常ノ生徒ニ迄鉄砲ヲ担ガセルノカト云フ感ジガ致シマス、体育ヲ体鍊、教練、遊戯ト細カク分ケテ居リマスガ、是ハ体育ト云フ一ツノ字デイケナイノカ、前ノ方デ理科教材ト云フ位ナラ此處デモ是（体育）デ沢山ダト思ヒマス、併シ体鍊ト云フ字、遊戯ト云フ字ガ悪イト云フノデハアリマセヌ、体鍊ト教練トノ區別、或ハ体鍊ト遊戯トノ區別ハ、小学校デハドンナコトヲ意味シテ居ルノカト云フコトモ伺ヒタイト思ヒマス(3)。一伊東幹事長が答える。「只今ノ御尋デアリマスガ、青年学校ト国民実修学校ノ連続關係ハ……現在ノ青年学校普通科並ニ高等小学校ニ代ルニ国民実修学校トナリマス訳デ、随ツテソレカラ青年学校ノ本科ニ入ル、斯ウ云フコトニナル訳デアリマス……ソレカラ東亜及世界教材ト云フノハ……是ハ非常ニ包括的ナ名前デ随分色々ナモノヲ含ンデ居リマスガ、東亜ノ歴史、地理、産業、交通、其ノ他住ンデ居ル民俗<sup>マム</sup>ノコト等ヲソレゾレノ学年ニ適用致シマスヤウニ教ヘテ行クト云フ意味デアリマス、今ノ尋常小学校ノ一年生カラ直グヤツテ良イカドウカハ解リマセヌガ……其ノ辺ハマダ根本ガ決定シテ居ル訳デアリマセヌ、併シ尋常小学

ノ低学年デモ或程度ノ、平易ナ意味ニ於テ今申シタヤウナ知識ヲ与ヘルコトハ非常ニ必要デアラウカト思ヒマス……ソレカラ理科ニ付テ……理科ハ相当大キナ内容ヲ含ンデ居ルカラ内容ヲ細カク分ケタ方ガ良イト云フ御説デアリマス、是ハ御尤デアリマスガ、現在ノ規定ガ実ハ理科トシテ、其ノ中ニ植物、動物、鉱物及自然ノ現象、通常ノ物理化学上ノ現象ヲ第四学年カラヤツテ居リマス、学科ノ区分ノ仕方ガ理科ト云フコトデ纏ツテ居ルモノデアリマスカラ之ヲ斯ウ云フ風ニシマシタノデ、或ハ理科ヲ更ニ分ケテ相当ナモノヲ十分ニ授ケルト云フコトガ必要カモ知レマセヌカラ、是等ノ分類ニ付テハ尚ヨク考究致スコトニシタラ良カラウト思ヒマス……ソレカラ教練ト云フ文字ハドウ云フ内容ヲ含ムカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ尋常ノ第一、二学年デハ「集合、整列、行進」ト云フヤウナコト、ソレカラ第三学年以上ハ「氣ヲ付ケ、休メ、集合、解散、番号、整頓、駆足」ト云フヤウナ内容ニナツテ居リマス、サウ云フコトハ現在モヤツテ居リマス訳デ、サウ云フコトモ或程度マデ必要デアラウト思フノデアリマス(4)】。

ここでまた西村委員が発言する。「例ヘバ皇民科ヲヤルト云フ場合ニ、修身教材、国史教材、国土教材、国語教材、東亜及世界教材、之ヲ教科書ニ一冊ニ含メテオヤリニナルノデアルカ、又便宜ニ別々ニ分ケテヤルト云フコトニナルノデアリマセウカ……此ノ御趣旨（＜全ク従来ノ行き方ヲ一新シテ総合のモノヲ考ヘテ行ク＞）ニ付テハ全ク賛成デアリマスガ、唯實際之ヲ行フト云フ上ニ於テ教科書ヲドウ云フ風ニスルカ……非常ニ實際上ニ困難ガ横タハツテ来ハシナイカト云フ風ニ考ヘマス(5)」。一幹事長が答える。「是ハ私共ニ於テモ今色々研究ヲ致シテ居ル所デアリマス、一冊ニスルカ、別冊ニスルカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ何モマダ別ニ確定的ナ決マツタモノガアル訳デハナイノデアリマスガ……極ク低学年ノ初ノ所ハ無論一冊ニスルノガ良カラウト思ヒマス……或程度マデ一冊デ行ク、学年ノ進ムニ従ツテ二冊ニスル、或ハ場合ニ依ツテハ三冊ニスル、或ハ国語ト云フヤウナ教科ニ付テハ何等カ特別ナモノヲ加ヘテ行クト云フ特殊ナ学科目ニ付テノ考慮モ必要デアリマセウ……要スルニ最小限度ノ要求トシテハ、皇民科ニ於テ皇民精神ガ修身、国史、国土、国語、東亜及世界教材総テノモノニ透徹スルコトガ必要ナノデアリマシテ、是ガ最モ重要ナ要件デアリマス、其ノ要件ヲ充ス為ニ具体的ニ教科書ヲドウスルカ、教授法ヲドウスルカト云フ問題ガ出テ来ル、少クトモ斯ウ云フ風ニ統一シマスコトハ各教材ノ内容ニ統一アラシメ、其ノ基礎ヲ養フ上ニ於テ非常ニ効果ガアルト云フコトニナリマス(6)】。

西村委員が疑問（＜余程注意シテヤリマセヌト、却ツテ総合シタ為ニ損失ヲ増スト云フヤウナコトニナル＞）を呈していたが、松村鎮次郎委員も言う。「此ノ案ハ如何ニモ斬新ナ面白イ案ト一口ニ申シテ良イモノデアルカト思ヒマス、併シ問題ノ要点ハ……之ヲ實際ニ行フ上ニ於テ本当ニ効果ヲ挙げ得ルヤウナ実行上ノ可能性アリヤ否ヤト云フコトニアルト思フノデアリマス……所謂皇民科ト云フモノ、教科書ガ出来テ、其ノ教科書ノ中ニハ修身教材アリ、国史教材アリ、国土教材アリ、国語教材アリ、東亜及世界教材ト云フモノモ含マレテ居ル……倅テサウ云フ教科書ヲ一ツ作ツテ、其ノ中ニ色々ナモノガ融合サレテ居ルト云フカ、混合サレテ居ルト云フコトニナルト、ソ

レデ纏マツタ、統一シタ知識ト云フカ、訓練ヲ与ヘルト云フコトニナルノデアリマセウカ、ソレデ果シテ児童ノ頭ニ国語ナリ国史ナリ修身ナリト云フモノニ付テノ訓練ガ本當ニ出来ルノデアルカ……是ハ訓練科ニ付テモ自然科ニ付テモ同ジコトデアリマス、無論低イ学年位ハサウ云フコトモ出来ルデアリマセウガ、段々学年ガ進ムニ從ツテ上マデ通シテサウ云フ混合的ナモノヲツノ教科書ニ纏メルト云フコトガ果シテ有効ナ教育ヲ行フヤウニ出来得ルカト云フコトガ非常ナ問題ダト思フ……斯ウ云フコトニスルガ為ニ却ツテ現在ノ教育ヨリモ効果ヲ減殺スルト云フコトニナリハシナイカト云フコトガ非常ニ虞<sup>おそ</sup>レラレルノデアリマス、「現在ノ小学校ハ御承知ノ通り一人ノ先生ガ一学級ヲ受持チ……一人ガ全力ヲ挙ゲテ一学級ノ総テノ児童ヲ教育、訓育スルノデアリマスカラ、<sup>たとえ</sup>仮令学科ガ分レテ居リマシテモソレハ教授ノヤリ方デ相互ノ間ニ十分ナ連絡ヲ執リ、纏マツターツノ人物ヲ造ルト云フコトニ於テ学科ガ分レテ居ルカラ出来ナイト云フコトハ必ズシモナイノデアリマス、一緒ニシタカラト云ツテ案ヲ作ツタ人ノ氣持ガサウ云フ積リダト云フニ止マツテ実行ノ上ニ於テ余程難儀ナコトガアルノデハナイカ……先ヅ附属小学校ナラ附属小学校、研究所ナラ研究所デ宜シイノデアリマスガ、サウ云フ研究機関デ研究シタ後ニ此ノ審議會デ決メルト云フコトニナラヌト……根本方針ヲ先ニ此處デ決メテシマツテ、聞イタラ斯ウヤルト云フコトハ少シ順序ガ逆ニナルヤウナ氣ガ致スノデアリマスガ……大人ガ自分ノ頭デ考ヘテ、斯ウスレバ本當ノ人物ガ出来ルダラウト考ヘタコトヲマダ頭ノ練レテ居ナイ<sup>ママ</sup>少サナ子供ニ直グニ実行シテ、ソレデ果シテ立派ニ行クモノデアルカドウカ非常ニ考ヘナケレバナラヌ、ソコガ教育上ノ研究ガ要ル点デアリマスカラ、是ハモウ少シ實際ノ教育ニ當ツタヤウナ人ノ研究ヲ待ツテ然ル後ニ此處ノ問題ニセラレルト云フコトガ寧ロ順序デハナイカドウモサウ云フ氣ガ致スノデアリマス(7)」。一幹事長が答える。「只今ノ御意見ニ對シテ一寸私共ノ考ヲ述ベテ置キタイト思ヒマス、教科書ヲ如何ニスルカト云フ御尋ニ付キマシテハ、先程七十三番（一引用者注一西村房太郎委員を指す。）カラ之ニ付テ御尋ガアリマシタ時ニ一寸申述ベテ置キマシタ、教科書ト致シマシテハ、今日實際小学校ニ於テハ、一年ハ合科教育ト云フコトヲヤツテ居リマス、是ハ今日考ヘテ居ル（幹事試案）ノトハ違ツテ居リマスガ、各教科ヲ合科シテ教ヘルト云フコトニ付テハ相當ニ廣ク經驗ヲセラレテ居ルコトデアリマス……合科ト云フヤウナコト、総合的教育ト云フコトニ關スル經驗ニ付テハ相當ニ今日為サレテ居ルヤウニモ思フノデアリマス、而シテ教科書ニ付キマシテハ先程申シマシタ通りニ、下ノ方ノ年級ニ付キマシテハ全体ヲ統一スルト云フヤウナコトモ、是ハ所謂知的ナ要求ト云フモノガマダ割合ニ稀薄デアリマスカラ十分出来得ルコトデアリマスノ要スルニ目的ト致ス所ハ、皇民科ト云フ觀念ヲ修身、国史、国土、国語、東亞及世界教材、総テヲ通ジテ一貫セシムルト云フコトガ最低限度ノ要求デアル訳デアリマシテ……今日ノヤウニ横ニズラリト平等ニ排列致シマシタ場合ニ於テハ中々ソレ（＜皇民科ト云フ觀念＞）ヲ得ルコトガ困難デアリマス……人ヲ造ル教育ガ為サレルカ知育ノミガ為サレルカト云フコトハ、教科書ノ問題モアリマスシ教授<sup>いざこ</sup>要目等ノ問題モアリマセウケレドモ、大体ニ於テ日本国家ノ小学校教育ノ根本精神ガ何處ニアルカト云フコトガ非常ニ大切ナ問題デアル……此ノ



精神ガ斯様ナ教科(皇民科)ニ現ハレ……教科書ヲ如何ニ作ルカト云フヤウナコトモ、實際ノ教授ト致シマシテハ非常ニ研究致スベキ問題デアリマシテ、教育ノ實際ニハ決シテ<sup>ゆるが</sup>忽セニ出来ナイ問題デアリマスケレドモソレヨリモ更ニ大キナ問題トシテ、以前ノ儘デ久シクヤツテ来タ知的教育ヲ更ニ轉換シテ国民ヲ造ルト云フ教育ニ致スニハ、斯様ナ案(幹事試案)ハ大体ノ形式ニ於テ非常ナル精神ヲ伝ヘ得ルモノデアルト考ヘルノデアリマス……斯様ニ科ヲ統一シ総合スルコトニ依ツテ各教科ノ中ニ縦ニ所謂皇民科意識或ハ訓練科意識ト云フヤウナモノヲ以テ貫クコトガ出来ルト云フコトヲ思ヒマスノデ、ソレガ今ノ大方針ノ問題ト相牽連<sup>けんれん</sup>ヲ致シマシテ教育上私ハ大キナ効果ヲ奏スルデアラウ日本ノ教育ノ方針ガ是デ決マルデアラウト云フコトヲ考ヘル者デアリマス/ソレカラ斯様ナ合科的ナ教授ヲ致スト云フコトニ付キマシテハ、一番先ニ申上ゲマシタ通りニ從來余程所謂合科教育ト云フコトニ依ツテ研究ヲセラレテ居ツタノデアリマシテ……「学制(教育制度)改革諸案」ノ中ニモ各団体ノ案ガ出テ居リマス、茗溪会等ノ案(8)ヲ見マシテモ、最近出来タモノト思ヒマスガ、高等小学校ニ当ルモノナドハ大体是(国民実修学校案)ト同ジヤウナ分類ガシテアルヤウニ記憶シマス……斯ウ云フ考ハ教育界ニ於テ相当育ツテ来テ居ルト思フノデアリマス、茗溪会案ニ依リマスト、一寸見タノデアリマスガ、最下級デハ全体ガ合科、段々上ニ進ムニ從ツテ合科ノ程度ガ少クナツテ居リマス、五年、六年ニナルト今ノ文部省ノ横ニ排列シタ項目ノ形式ヲ執ツテ居ルヤウデアリマスガ、之ヲ考ヘテ見マスト、中学校ニ連絡スルト云フコトガアリマスノデ、中学校ニ入ル時<sup>マ</sup>ニ工合ガ悪イカラト云フノデズツト上ノ年級ガサウ云フコトニナツテ居ルノデハナイカ、サウ云フコトヲ思ヒマストヤハリ合科シテ教ヘテ行クト云フコトモ相当育ツテ来テ居ル/文部省ト致シマシテハ所謂合科教育ニ関シマシテ今日外国デ考ヘラレテ居ル案ニ付キマシテハ……相当ニ調べタ物モアリマス、併シソレハ所謂合科教授(一引用者注—20世紀初頭以降ドイツにはじまる新しい教育方法の一つ。教科ごとに分けられた分科教授とはちがい、総てを統合して教育しようとする。)デアリマシテ、西洋式合科教授デアツテ、出来ルダケ知識ヲ集メ「ヴィヴィド」ナ實際ニ役立つ知識トシテ与ヘヨウト云フノガ重要ナ点ニナツテ居リマス、此ノ案(幹事試案)ハサウ云フコトガ具体的ナ案ニナツテ居リマス、更ニ十分精神ヲ与ヘヨウト云フコトニナツテ居ルノデ、其ノ意味ニ於テハ(「所謂合科教授」とは)大變違ヒマスガ、外国ニ於テ行ハレテ居ルモノモ研究ハ致シテ居リマス……更ニ多少小学校ニ関係アル人ナドノ意見モ一寸位ハ実ハ聴イテ居リマス訳デ此ノ内容(国民学校・国民実修学校教科案)ニ付テハ無論慎重ニ研究致サナケレバナリマセヌケレドモ、決シテ是ハ出来ナイ案デハナイ……ソレデ色々研究致シマシタ結果之ヲ提出致シマシタ次第デアリマス……只今ノ我が国ノ国民教育ノ全体的方向ニ対スル精神ノ問題ガ一番必要デアリ……確ニ誤ツテ居ナイト云フコトヲ確信シテ将来我が国ノ教育ヲ漸次改良シテ此ノ方向ニ進メテ行クト云フコトガ必要デハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス(9)」。この試案は十二分な研究を踏まえたものであって<久シクヤツテ来タ知的教育ヲ更ニ轉換シテ国民ヲ造ルト云フ教育ニ致スニハ、斯様ナ案ハ大体ノ形式ニ於テ非常ナル精神(<日本国家ノ小学校教育ノ根本精神>)ヲ伝ヘ得ルモノデ>

〈日本ノ教育ノ方針ガ是デ決マル〉と断じるのである。

三国谷三四郎委員はさきの5月11日開催第6回特別委員会で教科の合科・総合化に疑問を呈していたが、「私ハ此ノ案ニ付テノ文部次官カラノ御説明ハ能ク聴イテ居リマシタガ、現在ノ小学校ノ教科ガ非常ニ分科的ニナツテ居リマシテ、其ノ為ニ非常ニ教育上ノ欠陥ガアルト云フコトニ付キマシテハ、是ハモウドナタモ殆ド社会全般ニ痛感サレルコトデアリマス……此ノ小学校教育ノ問題ニ付テ……今日モ私ノ学校ニ居リマス教育ノ方ノ専門家デアリマス實際的方面ヲ研究シテ居ル或若イ先生ガ、合科教育ノ成績ニ付キマシテ私ノ所ニ統計ヲ持ツテ参リマシタ、尋常四年生ノ者ニ対シテ合科教育ヲヤツタ成績ト云フモノハ合科教育ヲヤラナカツタ成績ノ丁度半バ位ニシカ達シテ居ラナイ斯ウ云フ風ニナツテ居ル……尋常一年生ノ一学期位ハ合科教育ノ取扱ト云フモノガ相当有効ニ出来ルケレドモ、ソレ以後ノ学年ニ於テハ合科教育ト云フモノハ大シタ効果ガナイ、或ハ子供ノ能力ニ対シテ従来ヨリハ低下シタ成績ヲ見ルヤウナ結果ニナル……皇民科ト云フモノ、中ニ修身ノ教材ガアリ国語ノ教材ガアツテ、国家ノ方針ニ依ツテ、皇民科ノ内修身ハ何時間ヤルベシ、国語ハ何時間ヤルベシト云フ風ニ時間ノ配当モシナケレバナラヌト云フコトニナルト思ヒマス……是ガ若シ各教科ニ対シテ一ツノ教科書ガ出来テ、其ノ教科書ガ単ニ雑然ト色々ナモノヲ並ベタト云フコトデナシニ、一ツノ原理ニ依ツテ統制サレテ総合サレタモノガソコニ出来上レバ洵ニ結構デアリマスケレドモ……皇民科、自然科、訓練科ノ中ヲ見マスト、是デ系統ノアル一ツノ教科書ニ作ルト云フコトハ全然不可能デハナイカト私共ハ考ヘルノデアリマス」と言う。「ソレカラ文字ノ知識或ハ子供ノ心理的ナ事情ヲ考ヘマシテ、国語トシテノ系統ヲ追ヒ時間ヲ考ヘテ教材ヲ排列シテ行カナケレバナラヌト云フコトニナリマスカラ……若シソレヲサウ云フ独自ノ道ヲ壊ハシテシマツテ、皇民ヲ造ルノダト云フ一ツノ規範的ナモノニ纏メマスナラバ教材トシテハ随分ソコニ無理ガ起ツテ来ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス……国語科ト云フモノハ従来御承知ノヤウニ古イ時代ニハ作文トカ習字ト云フモノガ分レテ居リマシタガ其ノ後国語科ト云フモノニ纏メマシテ、国語科ト云フ一ツノ学科ノ中ニ読方、書方、綴方ト云フモノガ一緒ニナツテ居リマシタノヲ、国語科ノ中カラ習字ト作文トヲ取出シテ別個ノモノトシタ、随ツテ読方ヲ教ヘル時ニハ書方ハ教ヘナクテモ良イ、読方ヲ教ヘテ居ル時ハ作文ヲ教ヘナクテモ良イト云フコトニナルト国語科ト云フ一ツノ纏マツタ体系ガ崩レテシマヒハシナイカト云フ心配モ出来タノデアリマス……又自然科ノ中ニ算数教材ト理科教材トヲ置キマシタガ……算数ト云フモノヲ自然科ノ中ニ入レルコトハ問題ダト思フノデアリマス、仮ニ算数教材、理科教材ヲ自然科ノ中ニ一緒ニ致シマシタ所デ、算術ハ算術トシテ数理的ニ教ヘマセヌト、林檎ガ幾ツアル、梨ガ幾ツアルト云フヤウナ数ヲ算ヘルコトヲ教ヘルコトハ出来ルカモ知レマセヌガ、ソレ以上進ンダ教育、例ヘバ植物ヲ教ヘル時ニ算術ヲドウシテ教ヘルカ、化学ヲ教ヘル時ニ算術ヲドウシテ教ヘルカ、斯ウ云フコトハ一寸困難デハナイカ、数学ト物理モサウデアツテ、高等ノ方ニ進マナケレバ数学ト物理ヲ結付ケル機会ハ多クナイ、況ンヤ博物学ト数学ヲ結付ケルコトハ少イ、斯ウ云フ風ニ考ヘマスト、是（自然科の算数教材と理科教材）ハ少シ無理ガアルノデ

ハナイカト思ヒマス」、「少クトモ国語ニ付テノ児童ノ学力、算術ニ付テノ学力ト云フモノハズツト低下シテ来ハシナイカ、サウ云フコトハ知識ニ関スルコトダカラ、知識ハ低下シテモ宜シト云フコトデアレバ別ニ問題ハアリマセヌガ、併シナガラ斯ウ云フ国語ニ付テノ能力、算術ニ付テノ日本人ノ不得手ナ斯ウ云フ方面ノ能力ヲモツト徹底的ニ磨ク必要ガアルト云フコトデアルナラバ、寧ろ是ハ皇民科ト相並ンデ国語科ト云フモノヲ取出シテ一科ヲ設ケルカ、或ハ自然科ノ中カラ取出シテ算術科ト云フモノヲ別ニスルカサウ云フ方法ヲ考ヘル必要ハナイガラウカ(10)」とも言う。用具教科である「国語科」と「算術科」の系統教育の必要性を三国谷は強調する。

第20回特別委員会は7月13日午後から開催された。橋田邦彦委員(第一高等学校長兼東京帝大教授)が幹事試案推進の立場から発言する。「抑々我ガ日本ニ於テハアラユルモノガ日本的ニ把握セラレナケレバナラナイコトハ申スマデモナイ事柄デアリマス、是ハ尤モ孤立的日本ト云フコトヲ意味スルモノデハアリマセヌ……此ノ意味ニ於テ我ガ国ノ教育ト云フモノニ於テモ世界ノ有ユルモノガ日本的ニ把握サレテ其ノ内容トナラナケレバナラナイノデアリマス……ソコデ本案ハ其ノ趣旨ニ於テ少クトモ今申上ゲマシタヤウナ根本義ニ合致スルモノト云フノデ私ハ賛成ヲスルノデアリマス……殊ニ其ノ普通教育ノ最モ基本的ナ小学校ノ教育ト云フコトニ於テ此ノ趣旨ガ単ニ理念的ナ抽象的ナ言現ハシニ止マラナイデ、幾分タリ共具体的ニ何カガ示サレテ内容ノ整理、或ハ其ノ内容ノ動カシ方ト云フモノ、手掛リヲ示シ得ル形ニ於テ此ノ案ガ活カサレルヤウニ整理ヲシテ戴キタイト思フノデアリマス」、「従来ノ精細煩瑣ニ亘ツタモノニ比シテ余リニ簡潔ニ失シタカノヤウニ見エルカラシテ、其ノ実現ト云フコトニ対シテ甚ダ不安ガ感ゼラレルト云フコトハアルカモ知レナイト存ズルノデアリマス、併シナガラ本案ノ如キハ或ル意味カラ申シマスト実ニ百八十度ノ転回ヲ致シテ居ル案デアリマシテ、其ノヤウナ転回ノ意義アルモノ、価値ト云フモノハ従来ノ或ハ少クトモ分析的ナ立場カラ見タ価値標準ニ依ツテ価値ガ判断出来ル訳ノモノデハナイノデアリマス、全く別個ナ標準ヲ其処ニ持ツテ来ナケレバ価値ヲ判断スル訳ニ行カナイカト思フノデアリマス例エバ……恐ラク合科教授ニ対スル特殊ノ標準ヲ求メナイデ、合科教授ヲシナイ前ノ標準ヲ以テ合科教授ノ成果ヲ評価シタノデハアルマイカト云フヤウナ氣モスルノデアリマス……従来ノ価値判断ガ無用ダト云フノデハアリマセヌガ、今ヤ我ガ国デハ価値ノ轉換ガ行ハレナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、其ノ点ヲ整理委員ノ方々ガ一応御考ヘ下サルコトヲ切ニ希望シテ已マナイノデアリマス」。「要スルニ教育ハ申スマデモナク現今ノ問題デアルト同時ニ将来ノ問題デアルノデアリマスカラシテ、先ヅ人生ノ根本、殊ニ吾々ニ於テハ日本人ト云フコトノ根源的意義ガ漲ツテ居ルヤウナ方策ガ其処ニ立テラレナケレバナラナイコトハ申スマデモナイコト、存ズルノデアリマス、デアリマスガ此ノ理科的方面ニ於キマシテハ殊ニ理科的の學術ト云フモノ、人生的意義ト云フコトヲ擱ムコトハ容易ニ出来ナイコトデアリマス、是ハ私ノ体経カラノ問題デアリマスカラ個人ノ管見ニ過ギナイカモ知レマセヌケレドモ……此ノ理科的方面ノ學術ト云フモノハ動モスレバ功利的、実利の価値ダケシカ持タナイヤウニ考ヘラレル誤リガ多イノデアリマス、併シナガラ此ノ点(＜理科的の學術

ト云フモノ、人生的意義〉)ガ十分ニ把握サレテ行キマセヌト云フト、ドウシテモ我が国ノ教育ハ円満充実シタモノトナルコトハ出来ナイト考ヘルノデアリマス」、「殊ニ分析的建前ノ人間ヲ養成スルト云フコトハ比較的容易ナコトデアリマスガ、此ノ案ニ要求スル如キ総合的ナ立場ノ人物養成ト云フ事柄ハ難事トナルコトデアルト考ヘルノデアリマス……実ニ此ノ人生活動ニ於ケル「コペルニクス」的転回ト云フコトハ……其ノ内面的動ガ何処カラ出テ来ルカト云フ事柄ヲ一ツ制度ヲ改メル上ニ於テ考ヘナケレバナラヌコトダト存ズルノデアリマス(11)」。生理学者の立場からも橋田は、〈理科の學術ト云フモノ、人生的意義ト云フコトヲ擱ムコトハ容易ニ出来ナイコトデ……理科の方面ノ學術ト云フモノハ動モスレバ功利的、実利の価値ダケシカ持タナイヤウニ考ヘラレ〉がちで、〈日本人ト云フコトノ根源的意義〉〈総合的ナ立場ノ人物養成〉という観点から合科的教育への価値転換を指向する幹事試案は〈人生活動ニ於ケル「コペルニクス」的転回〉をもたらしものであると、賛意を表している。

松井茂委員(教化団体(中央教化団体連合会理事長)、貴族院議員(非職権委員))が発言する。「此ノ案ハ第一ニ今日兎角……皇民思想ナド、云フコトガ教育上ハツキリト目標ガ立ツテ居ラヌカノ如クニ一勿論教育勅語ガアリマシテハツキリシテ居ルノデアリマスルガ、斯ウ云フ時代ニ於テ茲ニ皇民思想ト云フコトヲ特ニ鼓吹スルト云フ事柄ハ大イニ意義ガアルコト、存ジマス、次ニ第二ニハ余リ学科ガ羅列主義デアツテ、之ヲ合科的ニヤラウト云フコトモ是亦今日ノ時局ニ最モ適當ナル点デアツテ……私ハ率先シテ此ノ案ニ賛意ヲ表シ、剩ヘ成ルベク速ニ実行アランコトヲ希望シタ者ノ一人デアリマス」、「何ダカ御反対ノヤウニモ見エル筋ガナイデモナイノデアリマス……先ツ第一ニ此ノ案ノ反対説ハ、此ノ案ト云フモノハ合科主義ヲ主張シテ居ルガ、小学校ノ一年生トカ二年生ト云フモノハ經驗上合科デモ差支ナイケレドモ、上級ニ進ムニ從ツテハ實際上遂ニハ自然ニ分科的トナラザルヲ得ナイ……斯ノ如キ所ノ新学科ヲ設ケナクテモ、現在小学校ニ在ツテハ各学級ニ通ジテ同一ノ教師ガ分担シテ居ルカラ、仮令学科目ハ従来ノヤウナ多数ノモノヲ羅列シタルモノデアルトハ言ヘ、教員ノ心得方ノ如何ニ依ツテハ實際上合科ノ実ヲ挙げ得ルノデアルカラ、運用上ニ於テハ従来ノ制度ニ依ツテモ何等差支ナイノデハナイカ……実行案トシテハ果シテ如何ナモノデアルカ、又此ノ案ノ皇民科ノ地理、歴史ト云フヤウナモノデモ是ガ独立科目トナラヌカラ、自然ニ漫然トシテ一科目ノ中ニ統制セラレルノ結果ハ、各学科ノ權威ヲ害スルノ結果ヲ呈スルニ至ルモノデハナイカト云フヤウナ御説モ耳ニ致シタヤウニ承ツテ居ル……併シ私ハ素人論トシテ忌憚ナク申上ゲマスルト、結局事物ノ改革ト云フモノハ何事デモ英断ヲ以テセナケレバ遂ニ実行不可能トナリマスカラ、茲ニ教育ノ改革ヲ行フニモ従来ノ慣習ニ囚ハレルコトナク考慮スルト云フコトガ必要デアルノハ申ス迄モナイト存ジマス……次ニ第二ノ問題ト致シマシテハ、是マデ大イニ問題トナツテ居リマスル所ノ合科ノ内容問題デアリマス……現ニ總テノ学科ハ結局皇民精神ト云フコトニ歸一スベキ根本精神ガ茲ニ確立セラレタル以上ニハ……合科ノ名称ノ下ニ適當ニ各学科ノ運用ガ考ヘ得ラレタナラバ、洵ニ幸ト思ヒマス(12)」。〈是マデ大イニ問題トナツテ居リマスル所ノ合科ノ内容問題〉(児童中心の自由主義教育思想)については、「皇

民精神」をもってそれに置き換えたうえでの合科教授援用が考えられていた。「是ハ細カイ問題ノヤウデアリマスガ、序ニ申上ゲテオキマス、国民学校ノ名称論デアリマスガ、是ハ中学校、大学等ノ関係上問題トナツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、小学校ハ兎ニ角国民全体ヲ背景トシテノ大多数ノ者ヲ収容スルモノデアリマスカラ、之ニ冠スルニ国民学校ノ名称ヲ以テスルコトハ適當デアラウカト存ジマス……以上ハホンノ素人トシテノ私見ニ過ギマセヌガ、併シ羅列シテ学修上統制ヲ欠クノ不当ナルコトハ殆ド一般ノ世論ノ一面スル所デアリマスカラ、何卒呉々モ此ノ案ノ趣旨ガ一日モ速ニ徹底スルコトヲ私ハ希望シテ居ル者デアリマス(13)」。なお「小学校」は「国民学校」とする名称が適當であると言う。

森岡常蔵委員が知識の総合化について語る。「国民学校教材ニ付テ一寸思ツタコトダケ申上ゲタイ……今回ノ教科改正ノ御案モ非常ニ新シイ意味モアリマスシ、教育改善ノ為ノ新シイ方向ガ示サレテ居ルノデ、其ノ意味ニ於テ非常ニ結構トハ存ジマスガ、唯考ヘマスノハ総合ト云フコトデ、総合スルニハ自ラ総合スル中心ガナケレバナラマイト思フ……偕テ此ノ皇民科ノ教材トシテハ修身的ノ教材モアレバ、国史的ノ教材モアル……無論皇民科デスカラ全体ヲ通ジテ皇民トシテノ心得ヲ以テ自ラ一貫スルノデアリマスカラ、中心ハアルト言ヘヌコトハナイノデアリマスケレドモ、皇民トシテノ心得ガ中心ニナルト云フコトハ、是ハ原則的ナ話デ、一々ノ国史ノ教材、国土ノ教材、国語ノ教材ヲ本當ニ総合スル教材上ノ中心デハナイト思フ……本當ニ総合スルナラバ、修身デ忠義ノ話ヲシタ、然ラバ国史ニ於テモ忠義ノヤウナ話デ之ヲ連関シテ行ケバ総合ガ出来ル、国語ニシテモ忠義ニ関スルヤウナ教材ガ入ルコトニ依ツテ自ラ総合ハサレマスガ、全体ガ皇道ヲ教ヘルト云フコトノ原則的ノ総合ハアリマセウ、デスカラ教育ヲヤツテ居ル連中ハ「コンセントレーション」(concentration)ト言ツテ、総合ト言フヨリ統合ト言ツテ居リマス、統合シテヤル、斯ウ云フノデアリマシテ、ソレニハ「センター」タル中心ヲ自ラ持ツテ居ラナケレバナラヌ、皇道ト云フコトガ中心ニナルト言ヘヌコトハ無論アリマセヌ、総合テノ学科ハ皆皇道、皇民タルコトガ中心ニナラナケレバナラヌノデアリマスガ、教材各個ノ場合ノ中心ト云フモノハドウ云フモノデアラウカ、皇民ト云フコトデ貫ヌクノデアリマスケレドモ、修身ノ教材トシテハ自ラ一定ノ順序デ行ク、国史ニダツテ一定ノ順序ガナケレバナリマスマイ、唯雜然トヤルダケデハ本當ノ総合ニハナラナイ、雜然ト寄集メタト云フ結果ニナルコトヲ惧レルノデアリマス、私共モ成ルベク総合デ行キタイト思フノデアリマス……一冊ノ書物ノ中ニ修身ノコトモ一修身ハ別カモ知レマセヌガ、国史、地理、国語、色々アルガ、唯材料ヲ並ベテ、学科トシテハ別ニナツテ居ラヌガ、ヤハリ材料ノ上カラ自ラ別々ニナリハセヌカト云フ虞ガアル……サウ云フコトニ陥ラナイヤウニ総合シタイモノダト思ヒマス、是ハ余程ノ研究ヲ要スルコトデハナイカト思フノデアリマス……総合ト一口ニ言ヒマシテモ、総合スル中心ガアツテソレデ総合スルノデナケレバ真ノ総合ニナリマセヌ……或意味カラ申シマスレバ皇民科、自然科、訓練科ニナツテ居リマスケレドモ、是ハヤハリ知識ノ分類ニ稍々墮シテ居リハセヌカ(14)」。<総合テノ学科ハ皆皇道、皇民タルコトガ中心ニナラナケレバナラヌノデアリマスガ、教材各個ノ場合ノ中心ト

云フモノハ……教材トシテハ自ラ……一定ノ順序ガナケレバナリマスマイ……皇民科、自然科、訓練科ニナツテ居リマスケレドモ、是ハヤハリ知識ノ分類ニ稍々墮シテ居リ、知識総合化の観点から自ラ総合スル中心ガナケレバナらないと言うのである。

西田博太郎委員（桐生高等工業学校長）が発言する。「私ハ工業ニ関係致シマス立場カラ整理委員ノ方々ニ御願ヒシテ置キタイト思フノデアリマス、此ノ国民学校ノ方ハ洵ニ結構ニ考ヘマスガ、国民実修学校ノ方ニ於キマシテノ自然科デアリマス……理科ト云フモノハ物理、化学等ニ分ケテ実用的ノ教材ヲ採ルベキモノデハナイカ……我が国ノ国民ガ一体ニ理科知識ガ足りナイ為ニ困ツテ居ル点ガアリマスカラ、工業方面カラ見マスルト、此ノ実修学校ノ方ニ之（理科）ヲ総合サレルコトハ如何カト思ヒマス、イマーツ……職業科デアリマスガ、職業科ガ「農、工、商、水産其ノ他ノ職業」ト書イテアリマスノモ是モ多分総合的ニ教育スル意味デアラウト解釈シテ居リマスケレドモ、若シ是ガバラバラデアルトスルト地方トシテ大變困リマス、国民実修学校ガ或学校ハ工業ダケヲ職業科ニ入レテ置クト云フコトニナリマス、農業或ハ水産ニ向フ者ハ其ノ土地ノ実修学校ニ入レナクナリマス、是ハ或地方ニ依リマス、高等小学校ガ只今デハ殆ド工業ニ関スル職業科バカリヲ教ヘテ居ルノデアリマス、サウナリマス他ノ産業ニ参リマス子供ノ行場ガナイト云フコトニナリマス、是ガ義務制ニナリマス、職業科ヲ総合的ナラ結構デアリマスガ、分ケテ設備ヲサレマス、詰リ子供ノ行場ガナクナリマスノデ、此ノ点モ若シ総合デナケレバ御一考ヲ煩シタイト思ツテ居リマス……特別ノ御質問ガナケレバ此ノ辺デーツ整理委員ニ御委セニナツタラ如何デゴザイマスカ(15)」。

ここで田所特別委員長は幹事試案の整理委員会への回付を確認する。「今度ノ教育審議会ノ答申ナルモノハ国策ヲ樹テルノデアリマスカラ……十分ノ御研究ニ基ツキマシテ……必ズヤ特別委員会デノ二回ニ亘ル御論議ヲ十分ニ参考ニセラレマシテ……整理委員ニ再ビ御返シヲ致シマスカラ十分ニ御審議ヲ願ヒマス」。「ソレカラ申上ゲマスガ、此処ニ教育調査部ノ調べマシタ所謂合科教授トシテ……奈良ノ女子高等師範学校、是ガ一番盛ンニヤツテ居リマス、東京女子高等師範学校、東京高等師範学校、其ノ他普通ノ公立小学校デモ数校ヤツテ居リマス、十二、十三ノ実施シテ居ル学校ニ付テノ評論ガ出テ居リマス、御参考ニナラウト思ヒマスカラ、皆サンニ差上ゲルヤウニシテ貫ヒマシタ……今日ハ是デ散会致シマス(16)」。

## (5) 整理委員会の再開

### ①八年制義務教育論議

7月15日午前に第7回整理委員会が開催され、林委員長は問う。「初二決メタイト思ヒマス、ソレハ国民学校ト云フ名称デ宜シイカドウカ〔速記中止懇談ニ入ル（10分程経て）、速記中止ヲ解ク〕……ソレデハ次ニ八年ノ内容ノ区分デスネ……義務教育延長二年—今ノ高等小学校二年ヲドウ云フ名前ニスルカ(17)」。

下村寿一委員が発言する。「下ノ方ハ国民学校、上ノ方ハ国民実修学校ト云フ風ニ

シマスト、是ハ一貫シタ精神デヤツテ行カナケレバナラヌノデアルカラ、ズット一年カラ八年マデ国民学校ト云フコトニシタ方ガ良カラウト思フ……従来ノ義務教育延長ノ論拠ハ六年デ足ラヌカラ……八年ニスルト云フコトハ同ジ名前デー貫シタ方ガ宜シイ(18)】。

佐々井信太郎委員は言う。「現在各町村ニ於テニツ三ツト云フ風ニ小学校ガアル村ニ於テハ、高等小学校ト云フモノヲ分離シテ一学校ニスルト云フコトガ行ハレテ居ルシ現在トシテモ最モ適当ナ行キ方デアルト思フ……全部義務教育ニシテシマツタナラバ……一ツニ集メルト云フコトガナクナルヤウナ事実ニナリハシナイカト思ヒマスノデ、ソレデ全部義務教育ニシタ後ニ所謂国民実修学校ト云フモノハ一ツノ学校トシテソコニ建テラレルヤウナ機会ガナクテ、各小学校毎ニ其ノ実修学校ヲ併設スル<sup>かっこう</sup>恰好ニシナケレバナラナクナリハシナイデセウカ」、「私ハ青年学校ノ中ノ普通科ト云フモノヲ青年教育ノ前期トシテ取扱フ……此ノ実修学校ヲ青年期ノ前期教育トシテ取扱フト云フコトナラバ、私ハ将来是ガ又モウ一年延ビルト云フコトヲ予想シターツノ考ヲ起サナケレバナラヌト思ヒマス」。「唯茲ニ一ツ考ヘテ見ナケレバナラヌ事柄ハ、現今ノ義務教育ヲ八箇年ニ延バシテ一ツノ系統ノ下ニ属セシメルヤウニスル時ニ、ソコニ所謂尋常小学校ノ分トノ実修時間……各種ノ設備ガ容易ナコトデナイノデハナイカ、実行甚ダ困難ニナリハシナイカト云フヤウナコトヲ考ヘル」、「一ツ第一ノ問題トシテ青年前期ト云フモノヲサウ云フ風ニ取扱ツタ学校ヲ造ルカ造ラヌカト云フコト……其ノ次ニハ設備万端実修学校トシテヤル時ニ、現今ノ小学校ニ併設シタ儘デ行ク学校モアレバ、行カナイ学校モ出来テ来ルト思ヒマス(19)】。

ここで林委員長が幹事に問い質す。「私モ藤野局長カラ此ノ案ヲ作ツタ時ノ御考ヲ伺ヒタイト思ツタノデアリマス(20)】。

藤野恵幹事(普通学務局長)が答える。「試案トシテ御覧ヲ戴イテ居リマスル案デハ国民学校ト国民実修学校ノ二ツニ分ケテ居リマス……本質的ニ両学校ガ必ズ分離セラレナケレバナラナイモノデアルト斯様ニ迄ハ実ハ考ヘテ居リマセヌ……仮ニ此ノ学校ガ二ツノモノニ分レルト致シマシテモ、實際ノ上デハ大体现状ノ尋常小学校ニ高等小学校ヲ併設致シマスル形態ヲ採ツテ、サウシテ逐次サウ云フ方針ノ下ニ段々分ケテ行クヤウニ努メル……将来ノ問題トシテ出来得ル限り之(＜尋常小学校ニ高等小学校ヲ併設致シマスル形態＞)ヲ独立分離セシムルヤウニ指導ヲ加ヘテ行ク」、「仮ニ之ヲ国民学校トシテ包括ヲ致シマスルニ際シマシテモ……下ノ六年ノ間ト上級ノ二箇年ノ間ハ余程事情ガ違フト存ジマス……心理学上ノ建前カラ致シマシテモ教育ノ内容等ニ付テ余程變ツテ来ナケレバナラヌト考ヘマス……若シ之ヲ国民学校トシテ八箇年ト報告ヲ致サレマスル場合ガアリマシタト致シマシテモ、下ノ六年ト上級二年ハ少クトモ或程度マデハ分ツテ御考ヲ願ツタ方ガ宜シイノデハナイカ、一応斯様ニ考ヘテ居リマス(21)】。

林委員長はこれを受けて、「大体皆サンノ御考ハ八学年ヲ通ジテ其ノ内容ニ付テハ只今局長カラ言ハレタヤウニ、心理学的ニモ、年齢ノ上カラモ二分位ハシナケレバナラヌト思ヒマスケレドモ……勿論此ノ青年学校モ青年期ノ初期デアルカラ、将来ハ之

ヲ一貫シテハドウカト云フ御考ノ方モアルヤウデアリマスケレドモ、ソレハ又将来ノ問題トシテ……此ノ八学年ヲ一貫的ニ一系統トシテ初等教育ヲ纏メテ行クト云フコトニ考ヘマシテ宜シウゴザイマスカ (22)】。

三国谷三四郎委員が発言する。「結論カラ申シマシテ私ハ今委員長ノ御話ノヤウニ、義務年限ガ延長サレタモノト致シマシテ、此ノ八箇年ヲ一貫シター系統ノ教育ヲ施ス期間トシテ考ヘタイ……其ノ理由ヲ申上ゲマス……現在ノ尋常小学校ノ教育ト云フモノハ色々内容的ニ改善ヲシナケレバナラヌ点ガ沢山アル……各教科目ニ現在盛ラレテ居ル材料ノ中デ、尋常科ノ生徒ニ対シテ年齢上無理デアルト云フヤウナ教材ヲ除キマシテ、サウシテ之ヲ緩和シテ教材ノ負担ヲ軽減スルト云フコトノ方ガ内容改善ノ第一著眼点<sup>ママ</sup>デナケレバナラヌノデナイカ……現在尋常六年生マデニ至ル間ノ教材ノ中デ……国民トシテ必要デアルト云フノデ年輩不相応ノモノヲ無理ニ教ヘテ居ルヤウナ点モアリマスノデソレヲ拔出シテ上ノ方ニ押出シテヤルト云フコトヲ考ヘマスト、国民教育ノ基礎的ナ教育ヲ完成シマス為ニハ、之ヲ八箇年全体ノニ考ヘテ内容ヲ整備シナケレバ、子供ノ負担ヲ軽減セシメマシテ、知識的ノ教育ヲ是正シテ、ソコニ子供ノ創作的ノ考ヘ方ヲ練ルトカ、或ハ体育方面ニ十分力ヲ入レルトカ、或ハ情操教育ヲモツトスルト云フヤウナ余裕ガ出テ来ルノデハナイカ」、「現在ノ高等小学校ニ該当スル教育ト云フモノ、内容ニ付テハ、色々職業科ヲ入レル……或ハ従来ノ如ク実業科ト云フ名称ニスル……兎モ角内容ニ付テハ実務的ノ教材ノ要素ヲ十分加ヘ、其ノ学科ヲ加ヘルノミナラズ、教育全体ノ運営上ノ方針トシマシテ之（<実務的ノ教材ノ要素>）ヲ大イニ強調スルト云フコトハ私共全幅ノ賛成ヲ致シタイト思フノデアリマス (23)」と  
言う。

三国谷委員の発言を受けて香坂昌康委員も言う。「只今ノ問題ハ大体現在ノ高等小学校ノ年齢ノ者、即チ十二歳乃至十四歳ノ者ハ是ハ少年トモ見ラレマスシ、又青年期ノ初トモ見ラレル年齢デアラウト思ヒマス……殊ニ現在ニ於キマシテハ是ハ青年学校ノ普通科ノ年齢ニ当リ、サウシテソレヲ国家ガ今回義務制ニ認メテ居ルノデアリマスカラ、此ノ二箇年ト云フモノヲ考ヘル場合ニハ、一ツハ是ハ少年期ノ教育デアルト考ヘ、又一面ニハ青年期ノ出発ノ教育デアルトモ考ヘテ之ヲ処シテ行カナケレバナラヌモノデハナイカト考ヘルノデアリマス……ヤハリ八箇年ヲ通ジテ国民ノ基礎教育デナケレバナラナイト思フノデアリマスルガ、併シ基礎教育ト同時ニ、上ノ方ノ今此処デ言ハレル実修学校ト云フ所ニ於テハ……ヤハリ実務的ノ訓練ト云フモノガ更ニ加ハツテ来ルト云フコトガ非常ニ必要デアラウト考ヘル、ソコデ……ヤハリ是ハ一貫シタモノト一面ニハ見マスケレドモ……先刻ノ局長ノ御話ニ依リマシテモ、余程六箇年ノ間ノ教育ト、二箇年ノ教育ト云フモノハ事実ニ於テ違ハナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス (24)】。

森岡常蔵委員も言う。「私モ総会（一引用者注一1月20日開催の第4回総会で「教育ノ本義デアル国体ノ本義ニ基ツイテサウシテ国民精神ヲ中心トスル教育」の「小学教育」を「国民教育」として一層充実させるのに「現在ノヤウナ六年デハマダ不十分ダラウト思フ、ドウシテモ八年ニスルコトガ国運発展ノ立場カラ見テ急務デアルト」



強調する。)ナリ特別委員会(一引用者注一4月27日開催の第3回特別委員会で「公民教育ノ如キ……是ハ義務教育ナルガ故ニト云フコトデ六年ノ間ニ無理ニ押付ケテヤツテ居ルヤウナ状態デスカラ……出来ルダケ完全ナ国民ノ資質ヲ養フヤウニスルノニハヤハリ八年ト云フモノハ纏ツタ教育トシテヤルベキデアリマス」と言う。)ノ時ニ意見ヲ述ベテ置キマシタガ、其ノ時ニ述ベタト同ジヤウナ意見ヲヤハリ今モ持ツテ居ルノデアリマス……義務教育ヲ延長スルト云フ理由ハ、今ノ小学教育デハドウシテモ国民トシテノ基礎教育トシテ不足スル所ガアルカラ之ヲ充実シタイト云フノガ本旨デアル……ソコデ外国ナドノ制度ヲ見マスト、独逸ニ致シマシテモ実修トカ云フコトニ付テハ殆ド小学教育「フォルクス・シューレ」(Volksschule, 6歳から14歳までの8年間の義務教育)デヤツテ居リマセヌ、ヤハリ国民トシテノ常識判断、ソレ等ノモノ、基礎ヲ養フト云フコトニ主力ヲ注イデ居ルヤウデアリマス……本来ハ国民ノ判断力ナリ常識一国民トシテノ団体方面ノコトハ無論ノ話デアリマスケレドモ、サウ云フモノヲモット充実シテ養成スルコトガ必要ダト云フコトガ本旨ニナラナケレバナラヌト思ヒマス……延長シタル二箇年ノ教育ハ……今マデ学ダコトノ纏リヲ付ケル時デアリマスカラ、又公民トシテノコト、サウ云フ方面ノコトモ一通リハ心得ナケレバナリマセヌシ、ソレカラ又社会ノ実務ニ<sup>まさ</sup>将ニ就カントスル者ガ大部分デアル以上ハ、実務的ノ方面ノコトモ教育ノ内容ニ加ヘテ良イト思フ、是ハ決シテ実業学校デハナイ、国民教育トシテ必要ナ内容ダト私ハ考ヘル、サウ云フ風ニシテヤリ方ハ変ヘルベキデアリ、国民教育トシテ之ヲ充実セシムルト云フコトニ主眼ヲ置カナケレバナラヌノデアリマス(25)。

林委員長曰く。「初等教育トシテ義務教育ヲ六年ニ加ヘルノニ二箇年延長シタト云フ意味ハ、国民ノ基礎教育ガ六年デハ充実シナイカラ、国民ノ基礎教育ヲ錬成スルガ為ニ二箇年ヲ延長シタノデアル、此ノ故ニ初等教育トシテ八箇年ト云フモノヲ一貫シター系統ノ教育ニ纏メルト云フコトガ最も良イノデハナйкаト云フ御説ガ多イヤウニ思ヒマス……ソレニ対シマシテ原案(幹事試案)ヲ賛成スル方ノ御議論ヲ承ツテ見マスト、心理学的、生理学的ニ初ノ六箇年後ノ二箇年トハ全然違ツテ居ル所ノ性質ヲ持ツテ居ルノデアルカラ、随ツテ内容ガ著シク違フ、此ノ故ニ原案ノ如ク国民学校ト国民実修学校トハ其ノ性質ガ違フカラ、分ケタ方ガ良イト云フ御議論ガアリマシタ(26)」。……「本日ノ整理委員会ヲ散会致シマス、次ハ若シモ總會ガ今日デ合済ミマスレバ来ル水曜日ノ午前十時(7月20日)ヨリ文部官邸ニ於テ開キマスカラ御承知ヲ願ヒマス(27)」。このあと同日(7月15日)午後から第9回総会で、田所特別委員長から特別委員会の経過並びに大要説明と諮問第一号「青年学校教育義務制実施ニ関スル件」答申が可決された。

## ②知識の総合化論議

### i. 合科教授への評価および教科目構成

審議の場は7月20日第8回整理委員会へ移される。林委員長曰く。「開会致シマス、御手許ニ「合科教授ニ関スル調査」ト云フノヲ御廻シヲ致シマシタ(7月13日開催の第20回特別委員会で配付されたもの)、就キマシテハ此ノ合科教授ニ付テ……審議

ノ都合デ何時カ都合ノ好イ時ニ課長カラ御説明ヲ御聴キ取願ヒマス……只今カラ内容ニ移リマシテ各科目ニ付テノ御議論ヲ願ヒマス、是ハ学校ガ二ニシテカーニシテニカト云フコト（一引用者注—6年の義務教育とそれを2か年延長して8年間の一貫した一系統の初等教育と、8年間を通して心理学的にも教育内容的にも6年とそのあとの2か年は著しく変わってくるので原案(国民学校と国民実修学校)のように分ける。)ニ拘ラズ低学年……ノ内容ヲツ先ニ御願ヒシタイト思ヒマス、関連シタ場合ハドウゾ御議論ヲ高学年ニ移シテモ宜シウゴザイマスケレドモ、差当リノ問題ハ低学年ト云フコトニ致シテ置キマス(28)」。]

田中穂積委員が発言する。「合科教授ノ御説明ヲツ承リタイト思ヒマス、委員長如何デス」。林委員長「結構デス、皆サン御異議ガナケレバ課長サンカラツ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス(29)」。]

小野島右左雄文部事務官（教育調査部調査課長）の説明が滔々と展開される。「日本ニ於ケル合科教授ハ大体大正九年頃ニ起ツテ居ルヤウデアリマス、奈良ノ女子高等師範ニ於キマシテ、此ノ調査報告ニ載セテアリマスヤウニ第一番ニ行ハレテ居リマス、彼処ノ木下教授ガ学習ト云フコトニ付テ一流ノ考ヘ方ヲ持ツテ居ラレル訳デアリマス……御手許ニ差上ゲマシタ第二ノ奈良女子高等師範ノ附属小学校ノ合科教授(30)ト云フ所ニアリマスヤウニ、大体此処デハ只今ノ所四学年（低学年）マデ合科教授ヲヤツテ居ルノデアリマス、五年六年（高学年）ハ多少分科的デスガ、併シ分科的ト云フ意味ガ違ツテ居ルノデアリマス、分科ト申シマシテモ生活単位ノ分科、ソレデアリマスカラ学習ト云フモノハ従来ノ学問的意味ノ分類デ分科サルベキデナクシテ、児童ノ生活ニ於ケル所ノ生活単位ト云フモノガ分科ノ基礎デアル、斯ウ云フ考ヘ方ノ下ニ於キマシテ、五年六年（小合科）ニ於キマシテモ、サウ云フ意味ノ教科ガ行ハレテ居ルヤウデアリマス、大体一学年ニ於キマス所ノ合科（大合科）ト、三学年四学年ニ於キマス所ノ合科（中合科）トハ多少意味ガ異ツテ居リマス……、他ニ行ハレマシタ所ノ合科ハ大体此ノ奈良ノモノガ間接的ニ或ハ直接的ニ影響ヲ与ヘテ居ルヤウデアリマシテ、例ヘバ東京ニ於キマシテ合科教授ヲ最モ能ク、或ハ最モ長クヤツテ居リマス所ノ浅草ノ富士小学校ナドガアリマス、此ノ富士小学校ニ於キマシテハ奈良ノ方面ノ視察ト、一方ニハ富士小学校ノ校長ガ外国ノ方ヲ視察シマシテ白耳義ノ「デクロリー」ノ「メソッド」(31)ヲ採リ入レ、ソレカラ一方ニ於キマシテ自由画、臨画トサウ云フヤウナ問題カラ教育的ニ悩ンデ居リマシテ、ドウシテモ児童ヲ本當ニ教育スルノニハ斯ウ云フヤウナ精神ヲ採リ入レタモノデナケレバ教育出来ナイト云フ立場カラ、個々ノ訓導ニ付テソレヲ実施サセマシテ今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、實際ニ當ツテ私共ズツト前カラ調べテ居リマスガ、浅草ノ富士小学校ニ於ケル教育ハ色々非難モアリマスケレドモ、或ル意味ニ於テハ成功シテ居ルヤウナ点ガアルヤウニ思フノデアリマス……其ノ他ノ学校ニ付テ調べマシタ……唯斯ウ云フ調査ヲ致シマシタ場合ニ、是（合科教授）ハ御承知ノヤウニ文部省カラ申シマスト云フト法令違反デアリマス、一方ニ於テハ視学或ハ学校長ト云フモノハ斯ウ云フ教育ヲヤリタクテモ多クノ場合ニ於テハヤルコトガ出来ヌト云フ実情ニアルノデアリマス、ソレカラ一方ニ於テハ

文部省ニハ教科書ガゴザイマスカラ教科書ヲ教ヘナケレバナラヌ、其ノ教科書ヲ一方ニ於テ教ヘ、或ハ法令ニ依ツテ学科課程ニ従ツテ之（教科書）ヲ教ヘテ行カナケレバナラヌト云フ制限ノ下ニアリナガラ、本当ニ日本ノ将来ノ児童ヲ造ルト云フ教育的ナ熱意カラ、寧ロ若イ訓導中堅ノ訓導ト云フモノ、中ニ本当ニサウ云フ風ナ教育（合科教授）ヲ研究シ、實際ニ之ヲヤラウト云フ熱意が見受ケラレルヤウニ思フノデアリマス」。<若イ訓導中堅ノ訓導ト云フモノ、中ニ本当ニサウ云フ風ナ教育ヲ研究シ、實際ニ之ヲヤラウト云フ熱意が見受ケラレル>と言う。「御承知ノヤウニ此ノ合科主義運動ト云フモノハ大正八、九年前後カラ日本ニモ伝ハリ、或ハ考ヘラレマシテ、中途ニ於キマシテ是ガ非常ニ衰微ニ陥リマシタ、昭和五、六年頃ニ於キマシテ日本ノ思想界ガ色々変化致シマスト共ニ教育思潮モ非常ナ変革ヲ蒙リマシタ、最近ニ於キマシテ国家主義或ハサウ云フヤウナ教育思潮ノ考ヘ方ガ起リマスト共ニ、一面カラ言ハバ元来ハ斯ウ云フ（合科教授の）教育思潮ガ自由主義的、個人主義的ナ、即チ児童ノ自発活動ヲ重ンズル、或ハ児童ノ個性ヲ重ンズルト云フ思潮ニ関連シテ居リマシタ為ニ、本当ノ意味デ之（合科教授）ヲ国家的ニ活カスコトガ出来ナイ、其処ニ斯ウ云フ教育ニ携ツテ居ル所ノ教師ガ非常ナ悩ミヲ持ツテ居リマス、最近ニ至リマシテハ之ヲ如何ニシテ活カスカト云フコトヲ斯ウ云フ教育ヲ扱ツテ居ル所ノ教師トシテハ絶エズ考ヘテ居リマシテ、訓導ノ中ニ於テモ頗ル熱心ニ勉強シ、サウシテ見ルベキ研究モシテ居リ、或ハ調査モシテ居リ、實際ノ取扱ヒ方ニ付テモ考ヘテ居ルヤウナ人々ガ少カラズアルヤウニ見受ケテ居ル次第デアリマス」。<元来ハ斯ウ云フ教育思潮ガ自由主義的、個人主義的ナ、即チ児童ノ自発活動ヲ重ンズル、或ハ児童ノ個性ヲ重ンズルト云フ思潮ニ関連シテ居リマシタ為ニ、本当ノ意味デ之ヲ国家的ニ活カスコトガ出来ナイ>、<斯ウ云フ教育ニ携ツテ居ル所ノ教師ガ非常ナ悩ミヲ持ツテ居リマス>と言う。「先ニモ申上ゲマシタ通りニ、国民学校及国民実修学校案ノ精神ハ再三次官カラ御説明ガアリマシタヤウニ、皇民的精神ヲ以テ之（合科教授）ヲ統一スルト云フ所ニ一大眼目ガアルノデアリマシテ、其ノ結果合科的ノ意味ガ其処（皇民的精神）ニ採入レラレル」。大正新教育運動の一環として生まれた児童中心の自由主義教育思想に基づく合科教授は、「皇民的精神」をもってそれに置き換えたうえでのその援用が考えられていた。7月13日開催の第20回特別委員会で、松井茂委員が同様の趣旨について述べていたことである。「教育ノ方法トシテ其ノ中ノ良イ所ヲ活カスコトガ出来ルト云フ考ヘ方ノ下ニアルヤウデアリマス、ソレデアリマスカラ現在ノ合科ト云フモノハ必ズシモ全部ガ成功シテ居ルト言ヘナイノデアリマス、一方ニ於テハ先ニ申シマシタヤウニ法令トカ、或ハ監督トカノ制限ガアリ、ソレカラ教科書ト云フモノガアリ、分科的ノ教育ヲ強要セラレテ居ルニ拘ラズ、一方ニ於テハ本当ノ教育ヲヤラウ、本当ノ国民ヲ養成スル所ノ教育ヲヤラウト云フ熱意トソレ等トガ必ズシモ統一スルコトガ出来ナイ、サウ云フ「コントラディクション」（contradiction・矛盾）ノ中ニ在ツテ悩ミツ、アルト云フコトヲ是非考ヘテ戴キタイト思フノデアリマス」、「ソレデ若シ之ヲ統一的ニ、矛盾ヲ総テ取去ツタヤウナ形ニ於テ認メテ行キマスナラバ、其ノ良イ所ヲ採ツテサウシテ日本ノ伸ビ行ク所ノ教育ト云フモノヲ育テ、行クコトガ出来ナイカ、斯ウ云フコ

トヲ是非考ヘテ戴キタイ、ソレデ知識ガ低下スルデハナイカト云フヤウナ御不審ガ  
 屢々起リマスと思ヒマスガ、此ノ点ニ付キマシテハ……知識ノ性質ガ違フノダト云フ  
 コトガーツノ眼目デゴザイマス、ソレハ従来ノ知識ハ謂ハバ分解的ノ、分離的ノ、或  
 ハ専門的ノ知識ガ要求サレテ居ル、所ガソレ等ノ知識ハ如何ニ能ク覺エテ居ツタ所ガ  
 生活デ生キナイ所ノ知識ガ大部分デアル、然ルニ若シ斯ウ云フヤウナ教育方法（合科  
 教授）ヲ採ツタ時ニ於テハ生キタ知識ガ其処ニ与ヘラレル、ソレデスカラ得タ所ノ知  
 識ハ刻々ニ利用サレルト云フヤウナ性質ヲ持つテ来ルシ、ソレカラ斯ウ云フ教育ノ性  
 質上カラシテ或ル場合ニハ或ル事項ヲ可ナリ深く入ツテ導クコトモ出来ル、其ノ為ニ  
 従来ノ分科の知識ガ要求シテ居ル所ノ水準ヨリモ一是ハ性質ノ違フモノデ、比較出来  
 ナイ所ノモノデアルケレドモ一モット深い知識ヲ得ルコトガ出来ル、斯ウ云フコトガ  
 考ヘラレルノデアリマス」。<従来ノ知識ハ謂ハバ分解的ノ、分離的ノ、或ハ専門的  
 ノ知識ガ要求サレテ居ル……生活デ生キナイ所ノ知識ガ大部分デアル、然ルニ若シ斯  
 ウ云フヤウナ教育方法ヲ採ツタ時ニ於テハ生キタ知識ガ其処ニ与ヘラレル>と言う。  
 「ソレカラ御承知ノヤウニ現在ノ社会ハ謂ハバ動的社会ト考ヘルコトガ出来ルデアラ  
 ウト思フノデアリマス、尤モ比較的静止的ナ社会ニ於キマシテハ其ノ教科ガ決マツテ  
 居ツテ、ソレダケヤレバソレデ社会ニ役立つスウ云フコトガ言ヘルダラウト思フノデ  
 ス、所ガ御承知ノヤウニ現在ノヤウニ刻々ニ国家ノ情勢ガ變動シ、ソレニ応ジテ適切  
 ナ生活ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ時代ニ於キマシテハ教育ハ従来ノ形トハ余程  
 違ツタ形ノヤリ方デ課セラレナケレバナラヌノヂヤナイカ、ソレニハス様ナ教育方法  
 ヲ旨ク研究シ導キ、サウシテ活カシテ行ツタナラバ或ハ十分能ク延ビテ行ツテ国家ノ  
 教育ヲ進展サセテ行クノデハナイカト云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、ソコデ斯  
 ウ云フヤウナ教育ニ於キマシテハ、現在ノ状態ニ於テハハ不十分デアリマシテ、先  
 ニ申シマシタヤウニ矛盾ノ状態ニゴザイマスケレドモ、若シ指導書ト云フモノヲ十分  
 能ク作ツテ、サウシテ指導書ニ依ツテ十分国家ノ要求スル所ノ要点ダケヲ押ヘテ置キ  
 マスナラバ教師ハソレニ依ツテ十分能ク生徒ヲ伸バシテ教育スルコトガ出来ルノデハ  
 ナイカ、一方ニ於キマシテ、例ヘバ現在ノヤウナ教科書デナク、教師ノ指導書ト、ソ  
 レカラ生徒ノ持つテ居リマス所謂児童用ノ教科書ト云フヤウナモノヲ拵ヘテ教育シテ  
 行クナラバ十分能ク教育ガ出来ルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ点ニ付テ私共ノ調査  
 致シマシタ所……凡ユル所ニ於キマシテ實際教育ニ当ツテ居ル人々ハサウ云フ声ヲ非  
 常ニ持つテ居ル次第デアリマス……現在スウ云フ考ヘ方ヲ持つテ居ツテモ国家ノ中ニ  
 於キマシテ言ヒ得ザル所ノ非常ナ多数ガアルト云フコトモ御承知置キ下サイマシテサ  
 ウシテ……国民学校案ヲ御審議ナサイマスニ当リマシテ多少御参考ニナルノデハナイ  
 カト思フノデアリマス(32)」。そして<刻々ニ国家ノ情勢ガ變動シ、ソレニ応ジテ適切  
 ナ生活ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ時代ニ於キマシテハ教育ハ……斯ウ云フヤ  
 ウナ教育ニ於キマシテハ……指導書ニ依ツテ十分国家ノ要求スル所ノ要点ダケヲ押ヘ  
 テ置キマスナラバ教師ハソレニ依ツテ十分能ク生徒ヲ伸バシテ教育スルコトガ出来ル  
 ……實際教育ニ当ツテ居ル人々ハサウ云フ声ヲ非常ニ持つテ居ル次第デアリマス>と  
 いうことを踏まえて、幹事試案の審議を願うと言うのである。

- 1 『教育審議会諮問第一号特別委員会会議録 第五輯』（第18回特別委員会会議録）35～38ページ。

＜凡例＞引用に際して、旧字体は原則として新字体（書きかえ字、俗字）で表記し、適宜、ルビや圏点およびアンダーラインを付した。以下、同様。

- 2 同前、（第19回特別委員会会議録）53～55ページ。

- 3 同前、64～66ページ。

- 4 同前、67～68ページ。

- 5 同前、68ページ。

- 6 同前、68～69ページ。

- 7 同前、82～84ページ。

- 8

昭和十一年十二月

義務教育の内容改善案 茗溪会教育制度改善委員会

義務教育年限が八箇年に延長せられた場合に、その教育内容を如何に改善すべきかに就いて、若干の根本方針を列挙し、其の趣旨を具体化すべき方案を記し、それに基づく教科課程の参考案を掲げよう。

一、徳育知育体育の均衡調和を期すこと。

(一) 徳育に就いては、一層国体観念を明徴にし、国民道徳を振作すると共に、広く大国民に必須なる徳性をも涵養せんことを期し、是等の諸徳を単に修身科及び公民科に於てのみならず、他の諸教科をも密接に関係せしめて取扱い、且つ児童の全生活に亘つて之が実践を指導すること。

(二) 知育に就いては、その内容の過重、多岐及び重複を避けて合理的に調整し、且つ注入的教授を改めて自律的能動的学習を促し、基本的、實際的なる知能を確実に修得せしめること。

(三) 体育に就いては、体操科の内容を拡充して、体操・遊戯・競技・武道・水泳・教練等を包摂すると共に、生理衛生の知能を授け、健康教育を施し、且つ教科以外の生活を通じて不断の体育に力むること。

二、郷土教育及び作業教育の精神を採用して、教育内容の具体化と、その的確なる修得活用を期すること。

(一) 郷土教育に就いては、郷土を材料として即物的、具体的知能を得しむると共に、国史・地理・理科等の学習の直観的基礎を授くるために郷土科を設け、且つ愛国心と矛盾せざる健全な愛郷心を養ふこと。

(二) 作業教育に就いては、作業科を設けて図画・手工・裁縫・手芸等の未分化的基礎を啓培すると共に、全教科課程を通じて作業的学習を促し、且つ課外作業をも重んじて、勤労愛好の精神を涵養すること。

三、職業的陶冶を尊重し、実社会の生活に於て有為有能なる国民を養成すること。

(一) 職業一般に対する見識信念を養はんがために職業的一般陶冶を施すこと。

- (二) 選職の態度、方法を指導すること。
- (三) 将来就職の可能性ある若干の職業に関して基本的陶冶を行ふこと。
- 四. 児童心理の発達に適応し、且つ家庭教育、学校教育及び社会教育の連絡を円滑ならしむるため、教科目を未分化、分化、統合の原則に基づいて配序すること。
- (一) 尋常科一学年に於ては、その活動の未分化性に基づき且つ家庭教育及び幼稚園教育より学校教育への連絡を円滑ならしむるため、未分科的（合科的）教育を施すこと、但し全然未分科主義は現今の小学校教師の実力に照して少々危険を感ずるが故に教育内容を若干の項目に分ち、特にその総合的取扱を重視すること。
- (二) 尋常科第二学年より漸次に分科主義を採り、五六学年に至つてはほぼ現行の教科課程と同一にすること。
- (三) 高等科に於ては完成教育の実を挙げ、且つ卒業後の修養（社会教育）との連絡を図るため、全教育を五科目乃至六科目に総合して課すること。

教科課程表（毎週授業時数） おのおの 各の方針を以て立案した教科課程表案を別表に掲げる。

科	学年	科目	尋常科		高等科	
			第一学年	第二学年	第一学年	第二学年
	第一学年	修身	談話	事物	作業	遊戯
	第二学年	修身	七	四	三	四
	第三学年	修身	二	八	四	二
	第四学年	修身	二	七	四	四
	第五学年	修身	二	六	四	二
	第六学年	修身	二	六	四	二
		国語	八	三	二	二
		算術	三	二	二	二
		国史	二	二	二	二
		地理	二	二	二	二
		理科	二	二	二	二
		図画	三	二	二	二
		手工	三	二	二	二
		音楽	五	二	二	二
		体操	四	二	二	二
		裁縫	二	二	二	二
		家政	六	二	二	二
		衛生	二	二	二	二
		家裁	二	二	二	二
		職業	六	二	二	二
		農工	二	二	二	二
		商業	二	二	二	二
		商技	二	二	二	二
		職業概論	六	二	二	二
		手工业	三	二	二	二
		図画	三	二	二	二
		理科	六	二	二	二
		地理	四	二	二	二
		国史	二	二	二	二
		国語	一〇	二	二	二
		国民	一〇	二	二	二
	第二学年	時間数	男	一〇	四	三
		時間数	女	一〇	四	三
	第一学年	時間数	男	一〇	四	三
		時間数	女	一〇	四	三
		総合的教授				

(出典:『近代日本教育制度史料 第十六巻』第二十一編 教育制度改革諸案、157～159 ページ。)

- 9 『教育審議会諮問第一号特別委員会会議録 第五輯』（第19回特別委員会会議録）84～87 ページ。
- 10 同前、90～95 ページ。
- 11 同前、（第20回特別委員会会議録）101～106 ページ。

- 12 同前、117～120 ページ。
- 13 同前、122 ページ。
- 14 同前、130～132 ページ。
- 15 同前、132～133 ページ。
- 16 同前、133～134 ページ。
- 17 『教育審議会諮問第一号特別委員会整理委員会会議録 第二輯』（第7回整理委員会会議録）1～2 ページ。
- 18 同前、2 ページ。
- 19 同前、4～5 ページ。
- 20 同前、5 ページ。
- 21 同前、6 ページ。
- 22 同前、6～7 ページ。
- 23 同前、7～9 ページ。
- 24 同前、9～10 ページ。
- 25 同前、16～17 ページ。
- 26 同前、19～20 ページ。
- 27 同前、23 ページ。
- 28 同前、（第8回整理委員会会議録）24～25 ページ。
- 29 同前、25 ページ。
- 30 日本における合科教授「本家本元」の奈良女子高等師範附属小学校主事木下竹次（1872・明治5～1946・昭和21）は、1937（昭和12）年4月から同校研究会機関紙『学習研究』（1922（大正11）年4月創刊）に「低学年合科学習概論」を連載（翌年10月まで14回）している。「近時低学年の合科学習の声が急に高くなった。合科学習の核心を掴まんとする人も頗る増加した。合科学習の実際を視察する人も多くなった。合科学習の研究発表も翕然として起つて来た。教育論は其の性質上如何なる人も意見を挿むことの仕易いものであるが此の種の教育改革説に対して不思議にも反対論がない。加之如何なる教育理論家も教育実践家も皆之れを賛成して居る（「低学年合科学習概論（一）第一序説」『学習研究』第十六卷第四号、53 ページ、昭和十二年四月）。……教師中心主義の教授を為せば児童は受動的に之れを受領し記憶せねばならぬ。此の如き教授が成功すればする程児童は益々受動的模倣的記憶的となつて真の教育に遠ざかつて行く。受動的に働き模倣し記憶することが絶対に悪いと云ふのでは無いが教育的には児童の自己活動を重視し彼等が発動的に活動し工夫創作して文化の進歩を図る事を主とせねばならぬ。教師中心主義が悪ければ誰でも児童中心主義の教育を憶ふ。偶々自由主義や個人主義が強く我が国に這入つて来ては児童中心の自由主義教育が盛に唱道せられ主知主義の教育は痛く排斥せられる様になつた。併し児童中心主義の如きは元来偏したものである。教師中心主義を排する為には一時は私も此の如きことを云ふたけれども此の両主義を止揚して更に一段と高所から眺めねばならぬと思

ふ。殊に児童中心主義の如き行過ぎ易いものであるから特に注意せねばならぬ。児童の生活から模倣と記憶とを奪つては工夫も創作も出来ないが模倣と記憶とで教育が出来ると居ては駄目である。〔中略〕我が合科学習は既に約二十年前から我が校に於て実践せられ幾多の変遷を経て居る（同前、第二 合科学習の沿革、56～57 ページ）。、「我が校に於ては大正八（1919）年三月から学習法を実施し大正九年三月から合科学習を実施した。……初期に於ては法令の要求国定教科書の修得を最低限度となし各担任教師が学習法<sup>な</sup>の精神に依り児童の社会的<sup>な</sup>人格を養成する覚悟で指導内容を考慮し毎学期末に詳細な実施報告を為た。〔中略〕大正の末から昭和の初期にかけて著書に雑誌に合科学習に関する研究は多く発表せられ日本全国に亘つて合科学習を実施し成績を挙げるものも決して少なくはなかつた。合科学習の研究も漸次進歩したが自由学習と誤認せられることが少なくなかつた。偶々時勢の転変に伴ひ自由思想は没落して統制思想が強く台頭するに及んで合科学習の如きは漸次姿を消すようになった。昭和十一年に至り一陽來復して新日本建設の教育法として合科教育の必要なことが当路に依つて称道せられる様になつて合科教育の声は俄に急に日本全国に喧伝せられる様になつた」（「低学年合科学習概論（二）第二 合科学習の沿革（つづき）」『学習研究』第十六巻第六号、54～55 ページ、昭和十二年六月）。

- 31 Decroly, Ovide (1871～1932) ベルギーの医学者、児童心理学者、教育実践家。障害のある児童のための特殊教育学院を設立（1901年）し、そこでの経験に基づいて児童のための新しい教育を行う学校「生活による生活のための学校（l'Ecole pour la vie, par la vie）」を創立した（1907）。その教育方法の特徴は、従来の教科別の学習に替えて自然や社会環境の中で子どもの興味を中心とする題材を選び、それを中心に総合的なカリキュラムを組むこと、そして子どもの学習活動を、1）観察—事物に即した直接的経験から、2）連合—観察や間接的経験（資料などによる。）によって得られたものを時間的・空間的に秩序づけより深化させる、3）発表—こうして得た知識を言語やデッサン・製作・演劇などを通して表現する、この3段階に分けて指導する点にある。ヨーロッパの新教育運動に大きな影響を与えた。
- 32 『教育審議会諮問第一号特別委員会整理委員会会議録 第二輯』（第8回整理委員会会議録）25～29 ページ。